



平成28年12月6日  
海上保安庁

## インドネシア海上保安機構アリー長官の来訪について ～ 今後の連携・協力関係の発展を確認 ～

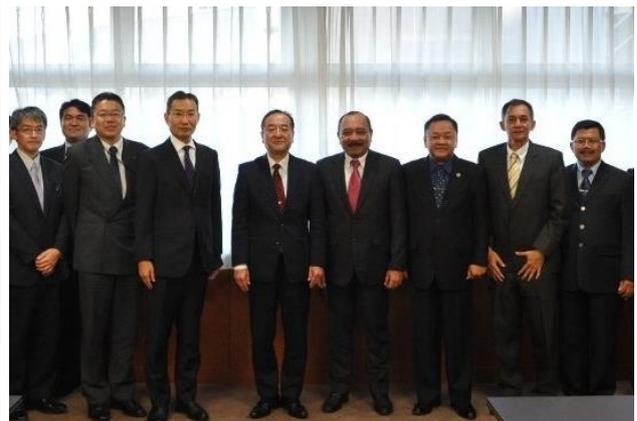
12月6日(火)、中島敏海上保安庁長官は、インドネシア海上保安機構(BAKAMLA)アリー長官の表敬訪問を受け、BAKAMLA との連携・協力関係の発展に関する意見交換を実施いたしました。

中島長官からは、BAKAMLA が今年10月12日(水)にインドネシア・ジャカルタにおいて主催した第12回アジア海上保安機関長官級会合及び同13日(木)に行われた日本、インドネシア及びインドによる3カ国合同訓練の成功について謝意が表明されたほか、海洋における「法の支配」に基づく「開かれ安定した海」の維持・発展のため、海上法執行機関同士の連携・協力関係を発展させていきたいとの発言があり、アリー長官は、これに同意されました。また、両機関は、今回の意見交換を通して、今後の連携・協力関係の発展に向けて協議するための連絡窓口を設定することに合意しました。

海上保安庁は、国境を越えて発生する海洋における災害、海難、汚染及び犯罪等の一国の海上法執行機関のみで対応することが困難な事案について、多国間や二国間の枠組みを通して、引き続き、他国海上保安機関との連携・協力関係を強化してまいります。



意見交換時の様子



集合写真

備考:「海上保安機構(BAKAMLA)」は、前身である、海上保安に係る機関間の調整を行う「海上保安調整組織(BAKORKAMLA:2008年に設立)」から、法執行を含む実行組織として2014年に再編され、インドネシア管轄海域における安全及び治安の確保を任務としている。